

アース21 会員各位

アース21 企画委員長
高橋雅明

アース21 東京研修ツアーのご案内

かねてから計画していました東京研修ツアーをご案内いたします。

今回は群馬のマイスターハウス様を訪問して山口社長よりマイスターホームの理念、さらには現在とりくんでいるパッシブハウスのお話を聞きます。群馬に行く道中は鵜野さんからいろいろな新しい情報を聞くことができます。東京ではジャパンホームショウ見学、自由行動となります。

マイスターハウスホームページ <http://www.meisterhouse.co.jp/>

- 日程 11月14日～16日 宿泊予定 浜松町
- 14日 各地より10時ころ出発、東京到着後ホームショウ見学（各自）
 - 15日 バスにて群馬マイスターホーム事務所に移動
道中鵜野さんより情報提供していただく
東京にもどり杉並のS邸見学
<http://x-unoblog.seesaa.net/> 鵜野さんホームページ参照
 - 16日 自由行動 17時ころ出発の飛行機にて各自帰宅

東京研修を終えて（副会長：岡本修）

11月14, 15, 16日の東京研修が無事に終了しました。

特に私は15日のマイスターホームについての感想を書き込みたいと思います。

参加者はアース21を中心に十勝2x4、ネット21(青森)のメンバーで鵜野日出男さんのコーディネートで行われました。

まずは高崎のS邸のQ1、こちらではパッシブハウスとっていますが、MKブラケットを使用した2x6の軸間断熱にロックール140ミリに100ミリの外断熱でした。詳細は鵜野さんのブログをご覧ください。いままさにブログと同じ工程の進み方でした。

現場はすばらしい内容？気になったのが、大工さんがいて、塗装屋さん、クロス屋さんが同時に入っていたので工程が遅れているのかなぁ～とおもいました。

あとは一路バスにて高崎のマイスターホームへと、自己紹介をしながら、各社の取り組みなどを語りながらマイスターのモデルに到着。

早々にモデルに入るなり、社長さんと名刺交換、もうあとは社長の独演会的な語り、ん～。自社の思いを力いっぱい語っていただいたってところでしょうか。モデルはすばらしく北米調の内容、もちろんその中には和モダンもあり技術の高さが見受けられました。



左:塗り壁で作った看板 右:スポンジローラーに切り込みをいれてころがした塗り壁パターン



左:ベニヤを利用した照明器具 右:マイスターハウスモデル庭で昼食



左:モデルハウス内部 右:杉並現場に設置された巨大な熱交換器(暖房、冷房)

その社長の思いをまとめてみます。

- ・お客様第一主義が基本
- ・クレームは10年間無料に対応 それで原因をつかみ次の現場に生かす。さらにはその対策費の半分は利益の還元、税金に半分近くもっていかれるなら、広告費と考え、お客様に喜んでいただいたほうがいい、そこから外交工事やメンテナンス工事などが生まれる。
- ・あちこち合い見積もりをする客はことわる。たとえば男と女の間話を話していました。さんざん男をとっかえて最後にあなたが一番と言われても信用できない。
- ・祖先を大事にするお客様は、工事をしても感動していただけるお客様とのこと。
- ・主導権は奥様
- ・紹介が80%、リピーターも多い。セカンドハウスや成長した子供達からの受注など
- ・職人さんは俺の宝。待遇も良くしているしその中から2代目さんも出てきている。
- ・年間の工事は15億円、2000坪、ボードで25,000㎡が施工能力したがって70~80万/坪

- ・徹底した分業で作業、フレーミング、断熱、ボード張り、造作等
- ・造作(ボードを除く)坪当たり1人工以上かかる。ほとんどは大工1人で作業3ヶ月は必要。
- ・半年分の予約はある今でも。

これらはモデルを見ながらそして昼飯を食べながらも熱い思いを語って頂きました、社長のブログにも書かれていますが、朝は4時~5時には現場をまわり、夜は打ち合わせをと、とにかく忙しく動いています。もちろん社員の皆さんも一生懸命でした、楽しそうにも見えました。

このあと現場を2棟ほどウォッチング。整理整頓がいきとどいてどこもきれいな現場でした。

ということで15日の研修を報告いたします。